

しっかり学ぶ

拔牙後の痛みと偶発症

口腔外科に強くなるエッセンスブック

【監著】管野貴浩

(島根大学学術研究院 医学・看護学系医学部 歯科口腔外科学講座)

拔牙後のトラブルに慌てないための
ノウハウを細やかに解説

拔牙術は、歯科臨床の基本的な小外科処置として広く行われていますが、時には術後に「強い痛み」「創部の併発症」「長期的な知覚神経障害(しびれ)」やその他の偶発症・併発症が生じ、対応に苦慮するケースがしばしばみられます。これらの症状が患者に「歯科医師の施術や管理のミス」であると誤解されることで、クレームやトラブルに繋がることも少なくありません。そのため、拔牙後疼痛に関連する問題を未然に防ぐためには、術後の疼痛や偶発症・併発症のメカニズムを正しく理解し、的確に対応する知識と技術が求められます。本書は「拔牙後疼痛」を深掘りした月刊デンタルダイヤモンドの人気連載をベースに加筆・修正・項目追加を行い、歯科臨床における日常かつ重要な課題について多角的な視点から深く掘り下げています。口腔外科の基礎力向上におすすめの一冊です。



AB判・180頁・オールカラー
本体8,000円+税

CONTENTS

Chapter1 おさえておきたい基礎知識

- 拔牙後疼痛のメカニズム
- 術前の準備と説明、拔牙に伴う偶発症と併発症
- 麻酔の効かせ方と難拔牙・残根拔牙
- 拔牙後の薬剤投与の最適解とは？

Chapter2 ケース別・痛みの原因と対応

- 拔牙後創部出血と腫脹
- 拔牙後創部感染
- 拔牙後ドライソケット／治癒不全
- 拔牙後感染 歯槽骨炎・下顎骨髄炎
- 拔牙後遺残(器具・歯根)と迷入
- 薬剤関連顎骨壊死(MRONJ)による拔牙後疼痛
- 拔牙後の知覚神経障害・神経障害性疼痛

Chapter3 拔牙および拔牙後管理

～ここが知りたいQ&A～

- Q. 一般開業医では手を出さず、口腔外科に紹介したほうがよいという患者の基準のようなものはありますか？ 他(全12問)

Chapter4 拔牙後疼痛まとめ

- 診断と治療アルゴリズムおよび今後の展望

詳しい情報はこちら

